

平成27年2月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成27年2月18日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|---------|
| 委員長 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員長職務代行者 | 大 庭 文 武 |
| 委員 | 岡 本 潤 子 |
| 委員 | 武 輪 節 子 |
| 教育長 | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|---------|
| 教育部長 | 佐 藤 浩 志 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋 脇 郁 夫 |
| 図書館長兼市史編纂室長 | 藤 田 俊 雄 |
| 学校教育課長 | 齋 藤 信 哉 |
| 教育指導課長 | 正部家 光 彦 |
| 社会教育課長 | 田 中 勉 |
| 是川縄文館副館長 | 前 田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 木 村 一 夫 |
| 博物館副館長 | 小笠原 善 範 |
| 図書館副館長 | 千 葉 玲 子 |
| 教育総務課参事 | 尾 崎 雅 祥 |
| 学校教育課参事 | 茨 島 隆 |
| 東地区給食センター所長 | 中 里 親 弘 |
| 西地区給食センター所長 | 清 川 彦 一 |
| 博物館参事 | 古 里 淳 |
| 教育総務課主幹 | 松 橋 洋 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまから、平成27年2月の教育委員会定例会を開会いたします。 本日の議事録署名は武輪委員を指定いたします。 それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p>
<p>伊藤教育長</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>無いようですので、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。議案第12号「八戸市スクールタクシーの運行及び利用に関する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>(議案第12号「八戸市スクールタクシーの運行及び利用に関する規則の制定について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>規則の内容に関しては特に異論ないんですが、5ページにありますスクールタクシー利用者証について、少しお話しさせていただきたいと思います。こちらは、2ページの第4条第3項にもありますように、利用者が乗車する際に利用者証をスクールタクシーの運転者に提示しなければならないとありますが、この利用者証は掲載されているようなものが、そのまま使用されることになるかどうかというのをお聞きしたいと思います。こちらの利用者証を、いわゆる限定された児童が持つのであれば、裏面の注意事項なども、例えば小学1年生にとっては難しい注意事項が書いてあるものを持つことになるのに対して、もう少し児童に分かりやすい書き方であったほうがいいのではないかと思いますし、利用者証の名前のところを大きくして、自分の物であるということを分かりやすいようにしてはどうかと思いましたが、いかがなものでしょうか。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>この利用者証というのもイメージなんですけれども、こういうような形をイメージしていただければと思います。そして、これを子どもたちが首からかけて、乗るときに提示する。この提示する意味は、できるだけスクールタクシーの運転手は同じ人で、子どもたちの顔を覚えた方が運転するということを配慮していきたいと思っていますけれども、そういかない場合もあるので、それを見せて確認</p>

<p>武輪委員</p>	<p>をする。</p> <p>それから、委員さんからご指摘があった部分についても、これもこれから検討していかなければならないのですが、あくまでもこれは保護者の責任の元でこの利用許可証を配付すると。そういった視点から考えれば、子どもたちがこの使用期限が過ぎたら委員会に返しなさいとか、そういうものでもないのかなど。いろいろと目的によるんですけども、その部分についてはもう少し吟味して、検討していきたいと思っています。一番の目的は、子どもたちがしっかり乗車したか、降車したか。そういった部分を運転手さんも確認するための一つの方法ということで考えていただければと思います。</p> <p>もう一つ付け加えさせていただきたいと思います。スクールタクシーという形では、どちらの学校も初めて運行されるわけですので、安全・安心ということを第一に考えていただいて、運行してから、たぶん今私たちが考えていないような様々なケースも現れてくると思いますので、是非安全性を重視しながら、その都度改善して対処していただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>私も議案書そのものについては特に異議ございません。今、武輪委員からもありましたように、実際の運行にあたっては、この文書で明記されていない部分でいろいろな弾力的な運用が必要になってくると思います。あるいは安全ということに関しましては、受託事業者に対して、できれば同一の運転手をお願いするということも考慮されているようですので、これから詰めの段階に入っていくかと思うんですけども、そういったところでも実際の運用にあたってはいろいろ弾力的に対応しながら進めていっていただければと思います。</p> <p>全国的に統廃合が進んでいくと、これはスクールバスに代わる一方法として、おそらくいろいろな参考になるケースかなと思います。国でも一時間以内の範囲でということも打ち出ししたりしていますけれども、生徒のための利便性・安全性を考えて、小回りの利く形での運用ということで、私は非常に賛成しているところですので、重なりますが、あとは実際の運用面でいろいろ出てきた場合、対応していただければと思います。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>今、委員さんからいろいろご助言いただいた部分ですけども、実はすでに松館小、是川東小が、この4月からを想定してシミュレーション的に1週間ばかりこのスクールタクシーを使って、実際に新井田小あるいは是川小に通うということをやっていました。ただ、それはあくまでも想定の範囲の中での練習ですので、</p>

	<p>今おっしゃったように様々なことがこれから出てくるだろうと思います。</p> <p>我々の方でも話題になったのは、夏場・冬場の違いなど季節的なものもあると思います。あるいは、子どもが急に休まなければならないような事態が発生した場合とかですね。これからいろいろなことが想定されていくんですけども、やはり一番大事なことは、そのことについて保護者、学校、委託された業者、最後には我々市教委が、そういう状況をしっかり把握して、対処していかなければならないのではないかと考えております。我々も初めての試みということで、これからそういう確認をしながら、しっかり進めて参りたいと考えております。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>質問ですけども、まず最初に、練習として試乗したということをお聞きしたんですけども、私たちが普通にタクシーと言っている大きさのタクシーということで今は認識してよろしいでしょうか。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>これから入札をかけて委託ということになるので、業者によっては、例えばワゴンタイプの大きいバスみたいなものということもあるかもしれませんが、今私たちが考えているのは普通の小型車です。大人で言うと4人乗りです。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>そうすると、ランドセルを背負って乗るということで、後部座席のシートベルトとかありますけど、試乗したときにはランドセルを背負ったままでございましたでしょうか。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>ランドセルは少し課題なんですけども、結局びっしり乗れば背負って乗るしかなくなる。あるいは前に抱きかかえる。そうすると安全面を考えていかなければならない。かと言ってトランクに入れるのかと。安全の部分の考えるとトランクが良いのかなということも考えています。ただ、これから実際に運用していくにあたっては、1台に4人びっしりということは今のところないみたいですので、乗っているところには若干余裕ができると。そういったときに、安心・安全ということ考えたときに、ランドセルの持ち方、あるいは別なバッグとか、そういった物をどのように扱うかについても、学校と少し情報交換しながらやっていかなければならないと考えていました。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>今お聞きして分かりました。予想すると、身体の高さも1年生と6年生ではまったく違いますし、持ち物ということもあるだろうとか、季節によってみんな着込んでいるとか、様々なことが予想されます。私自身が今考えても予想することはたくさんありますので、そういうこともシミュレーションした上で、皆さ</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>んがおっしゃるような安全というものができればいいなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>規則の制定については一切異論がないわけですけれども、要望あるいはこれから考えなければならぬことが出ましたし、私も大きくまとめて言えば、地域によってもやはり状況が違ひます。今の場合は是川東の地域、松館の地域、またあるいはこれから考えられているような地域の実状は全部異なる。それから規模の違ひ。様々な住民感情の違ひ。それから当該の子ども・保護者だけではなくて、周りにいる子ども・保護者の感情的なものへの配慮など、様々な対応しなければならぬことがあると思ひます。ご苦勞様ですが、初めての試みですので頑張っただけでいいと思ひます。</p> <p>それでは、議案第12号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第12号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>以上で議案の審議は終わりました。</p> <p>次に報告事項に入りたいと思ひます。はじめに「第1回教育の広場 in はちのへについて」報告を受けることとします。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>(資料「第1回教育の広場 in はちのへについて」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願ひします。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>感想ということで、前にもお話ししたんですが、やはり地域密着型教育の一つとして、市民へこちらから発信していく、あるいは周知していくという場として、私は非常に良い企画であったと思ひます。そして、来年度も継続して実施したいということでしたので、そのことを踏まえて何点か感想ということで述べさせていただきます。</p> <p>これは前にもお話ししたことなんですが、一般の方、特に高齢の方で、展示の部分を熱心に見られている方もおりましたけれども、スペースの関係もあると思ひますが、各校の展示をもう少し余裕を持って、表示したものの字がもう少し大きければ、ご覧になっていた方ももう少し読みやすかったのかなと思ひました。私も結構近くにいかないと、こういうことを各校でやっているんだなというのが読み取り難い部分があったので、その辺を配慮できるのであれば、各校のせつかくの発表の部分ですので、もう少し大きく見やすいように工夫していただければ</p>

<p>正部家教育指導課長</p>	<p>というのが一点目です。これはやはり会場のスペースから考えれば無理でしょうか。パネルをあれだけやっても、各校のスペースを大きくするというのは無理な状況ですか。</p> <p>検討させていただきます。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>あと、この資料の裏面ですけれども、アンケートの2つ目の丸ところですが、「学校へ市民として協力したい気持ちになりました」とあります。私はやはりこれが一つの今回の効果なのかなと思ひまして、有難い反応だと思ひます。そして次の提言です。「市民が学校へ協力できる手順を、市が提案してほしいです」とあります。これも一つの提言として、私は今回のプラス効果なのかなと感じております。もしそういうふうなことで具体化して、このアンケートに答えられるような場面があれば、考慮していただければいいなというふうに思ひました。</p> <p>あとブックリサイクルフェアについては、前にも触れましたけれども、対応していた生徒たちも受付でちゃんとシールを貼ってくれました。こだわるようすけれども、学校の判が押したままでは、持ち帰っても後ろめたくてなかなか自分の本棚に置けないです。取ってきたんではないかという感覚で。ああいうふうに丁寧にシールを貼っていただいたので、安心して、堂々と本棚に置けたと思ひます。こういう本のリサイクルの方法もあるんだという一つの参考になると思ひますので、ああいう対応をしていただいたのは良かったと思ひます。</p> <p>あと一つ質問ですが、ブックリサイクルはどれぐらい利用されたんでしょうか。想定よりも多かったのか。もっと貰って欲しかったという感じなのか。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>500冊ほど学校の方から集まりまして、320冊お分けすることができました。残り180冊につきましては、教育指導課に保管してございますけれども、またの機会があればと考えてございます。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>これもマイブックと関連しながら、本の利用方法の一つかなと思ひますので、機会があればまたやっていただければと思ひます。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>今回このような事業報告という形で、初めての企画だったわけですが、内容についても、私たちは教育委員として、遠野市との交流事業の報告会にも、海外派遣の報告会にも出席させていただいて、そこでいろいろな形で見たり聞いたりということはありますが、市民の方々にこの報告を直接できたということ。また、弁論大会の生徒さん、英語スピーチコンテストで優勝された中学3年生の方、そして自由研究、理科発表など、なかなかその場に行かないとお話が聞けないもの</p>

築瀬委員長

を集約して、ここでお話が聞けるということは非常に良かったと思いますし、本当にもっともっとたくさんの方に聞いていただきたいというのが実感です。

ですので、これから先もこのような形で進めていくにあたって、来年度も12月の年末になりますが、私も早くから皆さんにPRして、ここに足を運んでいただいて、一度にこんなにたくさん子どもたちの成果を見れるんだよ、聞けるんだよ、ということをおPRしていきたいと思っております。

はい、ありがとうございます。

では、私からも3つぐらいお話ししたいと思います。先ほど課長さんからお話があったように、これから考えていくということですので、じっくり時間をかけて練っていければいいなと考えております。基本的にはとても良かったと思いますが、やはりこれからのために、とりあえず3点ほど述べたいと思っております。

1点目は、ステージ発表が、逆に言うと盛りだくさん過ぎて、細切れな感じがあったんですね。一つの発表が短いので、細切れで忙しいという感じだったんです。それも仕方ないと思うんですけども、その辺の工夫というのはどうなのかなと思いました。そのためには、時間を生むということが必要になるんですが、これは様々な考え方があると思うんですが、私は講演会を2日連続続けたということに関して、もう少し考えてもいいんじゃないかと思っております。つまり、1回にして、もう1回分をじっくりと時間をかけて、例えば教育委員会事務局からの施策の説明もとても良かったんですが、すごい忙しかったです。一つの項目について2分ぐらいですかね。なので、もっとじっくり「こういうところはこうですよ」と分かりやすく説明する時間もできれば欲しいと思いました。せっかくの教育委員会からの発信の場ですので、そういったことを考えました。ということは、時間を生むためには講演会が一つでも良いのかなというふうに考えましたので、こういった点もこれからお互いに意見交換していただければ、大変有難いと思っております。

それから2点目は、先ほど大庭委員からもあったんですが、我が校自慢とかグッジョブの壁新聞的な発表ですね。あれもとても良かったんですが、これも私は盛りだくさん過ぎて、とても時間をかけないと全部見られないという感じでした。私が何を言いたいかというと、最初の第一回目なので、全部の学校を提示したというのは良かったと思うんです。これがもしも定着してこれからも続けるのであれば、毎回全部ではなくても、例えば来年は小学校、次は中学校というのも一つの手立てかなと思います。あるいは、小学校を半分にするとか、地域別にするとか。そうすると、先ほど大庭委員から出た課題のスペースがあまりなくて小さかったということも、少しゆとりを持てるのかなということも考えたりしていました。せっかくのすごく良いものを、もっとじっくり見たいというのがあります。第一回目なので、全部やるのはすごく良かったと思っておりますが、次か

ら考えるときにはそういった考え方もあるのかなと思いました。

3つ目は、これが一番なんですが、何とか工夫して、もう少し人が参加できるようにできないかなと思ったんです。市民の方もそうなんですが、学校で言えば校長先生、教頭先生の姿しか私には見えなかった。先生方は、年末で講習会とか忙しい時期に入るとのこと。それから、週休日に重なるということもあるんですが、ステージ発表についても、展示部門についても、他校のことを知るすごく良い機会なんですよ。他の学校でどうやっているかというのは、とても良い研修の機会だと思いますので、あれを校外研修として出張として認める。そういったことの教育委員会からの配慮があってもいいのかなと思います。週休日に関しては振替が必要になるわけですが、それは冬休み中での振替というのも形式的には可能かなと思ったりします。私は、もう少し先生方にも他校の様子をじっくり見てほしかったなと思っていましたので、そういった点もこれから考えていくことも大事かなと思っております。

ブックリサイクルフェアは、私も限度ぎりぎりの本をいただきまして、読み聞かせなんかに使おうと思っていて、大変有難いと思っていました。

今私が話したことについて、何か今の時点で、他からもこういう考えが寄せられているというのがあったらお聞かせいただきたいですが、なければ先ほどの感想でもいいんですが。

一つ忘れまして。弘前市の教育委員会から、教育長さんはじめ事務局の方が見に来て、説明も聞かれていきましたよね。ああいうことも非常にいいことだったので、もしその場で何か感想等あって、ここで発表しても差し支えなければ聞かせていただきたいと思いますが、何かありますでしょうか。

伊藤教育長

弘前の教育長さんにつきましては、私と嘉瀬リーダーが対応しました。ステージ発表が終わってから、2階に上がって1時間ばかりお話ししました。今回お邪魔したのは、弘前市でも八戸のような、要するに各学校でやっていること、教育委員会でやっているようなことを市民にアピールしたいということでした。八戸を参考にしながら、申し訳ないけれども、来年度弘前市でもこれと同じようなのをやりたいということで来ましたので、私どもの取組を少し紹介して、それから地域密着型教育についても資料を差し上げて紹介しました。

この今回の教育の広場につきましては、もともと年度前からあったものではありませんでした。一昨年、はっちで、ある地区の中学校で何校か集まって、1階の奥の方の場所でグッジョブの発表をしていたんです。先生方はまったく出なくて、その保護者の方が責任を持って展示を全部取り仕切っていました。その方から「実は他の学校からも、うちの学校の展示はされていないですかと何件もきているんだ」と。私が見ているときもやはり「うちの子どもの学校の展示はどこでしょう」というのが、僅か30分間に何件かきていたんですね。それを見

て、その方も「是非、教育委員会としても各学校でどういうことをやっているのか紹介するような場があればいいな」と話していたのが実はスタートなんです。私はその場で「分かりました」と。八戸では各校とも大変良い催しをやったり教育活動をしていますので、そういう紹介する場があれば、是非実現してみたいというお約束もしたんですね。そして、年が明けてから、予算も計上していませんでしたので、教育委員会の課長等に、急遽だがこれを実現できないかということで検討していただいて、補正の予算もつけていただいて、急遽できたというわけです。

一番迷ったのは、開催場所として最初は文化ホールを考えたんですね。ただ、ねらいは学校の先生よりも、一人でも多くの市民に見ていただきたいということで、最終的に一番人通りの多いはっちがベストだろうと思ったんですが、皆さんご存知のように、はっちはすでに土日は予約でほとんど埋まっているんです。そして残っていたところが、今回の日程なんです。次回、来年度についても、正部家課長からありましたように、年末ですが運良く土日が空いているので、今年度よりは人が集まるのではないかと思います。

ですから、来年度の課題としては、委員長さんからお話がありましたように、当初の目的である一人でも多くの方に見ていただくということ。八戸の教育活動は、本当に良い活動をしているんです。ところが、自分の学校すら見ていない。あるいは、見る時間、機会がなかったという方が大変多いと思うんです。したがって、自分の学校はもちろんですが、他校の展示等も見ながら、八戸市全体の教育の概要というものを知っていただきたい。今は教育について、子育てについて、非常に様々な悩みを抱えている保護者、あるいは年配の方もいらっしゃるわけですが、そういう子育てのヒントになれば、あるいは地域密着による協働の学校運営の一助になればと思って、今回第1回目を開催しました。

今お話がありましたように、課題も何点かあります。ただ、教育長としては焦らないで、あまり良いものをやろうとなると、学校の先生方に非常に負担がかかるんですね。今回、模造紙で展示したというのは、実は正直なところを申し上げますと、中学校の展示は、今回特に中文連の大きな大会がありましたので、あれに出品したものがほとんどです。したがって、12月に展示するために作っている学校というのは、中学校ではほとんどないんです。小学校は、このために作っている学校というのも何校かありまして、正直に申し上げますと、あれがなかなか負担だったという声も教育長には1～2校から聞こえてきているんです。ただ、良いものをやるためには、やはり一手間をかけるということが大事でありますので、この辺も来年度は理解を求めていきたいと思います。そして、大庭委員さんからもありましたように、せっかく展示するので素通りではなくて、内容が見えるような工夫もしていかなければなりません。全部を展示するか、小・中学校で分けるか、あるいは2年に1回の展示になるようにするか。この辺はこれから検

	<p>討して参りたいと思います。</p> <p>そういうことで、弘前も来年度は何かやるというお話を教育長さんから伺っております。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。教育長が発言する機会があまりないので、とても良かったと思います。</p> <p>今のお話のように、具体的に市民の声を活かした企画になっていたということとか、八戸市が目指している地域密着型教育の広がりというものをじっくりとしていきたいということで、これからに期待したいなと思います。あまり期待し過ぎると学校にも負担がかかりますので、その辺はほどほどにしながら、やっていきたいものだなと思っております。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、次の報告事項に参りたいと思います。次に、「平成 26 年度学校教育実践功労表彰について」報告を受けることとします。</p>
<p>木村総合教育センター 一所長</p>	<p>(資料「平成 26 年度学校教育実践功労表彰について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>こちらの学校教育実践功労表彰というのは、ご説明いただいたとおり平成 21 年からということで、今年度で 6 回目ということですが、今年度の応募団体は 1 団体だけだったんでしょうか。何団体かあった中から選考して、この 1 団体が表彰されたということでしょうか。</p>
<p>木村総合教育センター 一所長</p>	<p>今回の応募は 1 団体のみでありました。応募が 1 団体で審査対象も 1 団体です。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>応募がいくつかあってということだと、切磋琢磨してと言いますか、例えば前回は応募したけれども、またトライするということもあり得るわけですか。今まで平成 21 年からで、前に応募したけれども表彰されなかったのも、また新たに応募してくるということもこれから先あるのか。せっかくこういうことをされても、応募が 1 団体というのはとても残念だなと第一印象で思ったので、そういう意味で何度もチャレンジすることができるのか。また、もっと良い形でいろいろな活動をしているけれども、応募しない限りここで表彰されないということですので、その辺について、これから先も応募が少なければ表彰に値しないわけですよね。その辺はどうかなと思ひまして、お聞きしたいと思ひます。</p>

<p>木村総合教育センター 一所长</p>	<p>これまでは2団体とか3団体が表彰されてきました。学校にも何回か案内を差し上げているんですが、どうしても学校や研究団体等が遠慮しているものもあるかもしれないと、ある程度声はかけていますが、今回は1団体でした。これは3団体までとか、そういうのありませんので、上がってきたら活動内容の質を見て審査しますので、また来年度はさらに上がってくればいいなと思って呼びかけていくところです。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>せっかくこういう形で表彰がありますので、是非たくさん応募してほしいと思いますし、そういう形でプレゼンをする場が出るといいなと思います。やはりこのプレゼンをするにあたって、例えば資料を作らなければいけないという手間だったり、実はすごく良いことをしているんだけど、この説明なりプレゼンをするための資料を作るのが大変なので応募しないということも考えられるのでしょうか。もっともっとたくさん応募して、表彰してほしいと単純に思っておりますので、もっと楽な形で応募できるようになればと思うのですが。</p>
<p>木村総合教育センター 一所长</p>	<p>応募に関して、準備する書類が煩雑だということはそれ程ないと思います。やはり先ほど申し上げたとおり、どうしても学校側が「これが表彰に値するのかな」と考えている部分があると思います。過年度においては、こちらから「十分表彰の対象ですよ」と声をかけて応募してきた団体もあります。こちらからも「なかなか良いことをやっていますよね」とか声をかけたりすれば、そうかなという場合もありますし、とにかく声をかけていくようにしたいと思います。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>よろしく申し上げます。実は私、教育委員になる前に、この功労者表彰の審査に関わったことがあります。このときにはかなりの団体が応募して、実は表彰されなかった団体もありましたので、そういう意味でまたトライしてくださるという機会もあるのかなと思ってお聞きいたしました。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。他にいいですか。 この教育実践功労表彰についても、必ず出してくださいということではなくて、学校あるいは研究会でやっていることを認めて励ましてあげたいということから始まったように記憶しています。無理なくそして励みになるように、良いことをやっている団体があったら、教育委員会でもそこに話をかけてみるとか、そういうこともしていると思いますので、これもじっくりと負担にならないように、そして学校やいろんな研究団体が、これから頑張りたいという気持ちをもてるようにしていければいいなと思っております。ありがとうございました。</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>その他、事務局からの報告事項はございますでしょうか。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>事務局からは以上の上のようですけれども、最後にその他として、委員の皆様方から何かございますか。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>先日、新聞等の報道機関からもお知らせがありましたが、八戸を舞台とした「ライアの祈り」が5月30日より青森県先行ロードショーということで公開されるということで発表され、関係者の試写会もありました。</p> <p>私も試写会に参加させていただいて拝見したんですけれども、大変感動いたしました。鈴木杏樹さんという方が主役でお話が進むんですが、私はこの合掌土偶が今回この映画の主役かなと思ったぐらい、題名は「ライアの祈り」ですが、この祈りということに関して非常に深い映画だなと感動し、映画館で涙を堪えきれずに、周りの方に泣いている様子を知られないようにどうやって泣こうかなと思ったぐらい感動してきました。</p> <p>原作も読ませていただいて、この原作がどのような形で映画化されるのかなというのも楽しみでしたし、実は台本もいただいて読ませていただいたんですけれども、原作にはない震災のことについても、この映画の中に盛り込まれているんですけれども、本当にたくさんの方に観ていただきたいという気持ちでいっぱいです。</p> <p>丸々八戸を舞台にしていますので、八戸の自然と食と人とというところが本当に全部出ています。こちらの映画は、合掌土偶というか、是川縄文館をPRするのも非常にいい機会だと思いますので、是川縄文館のPRも込めて、そしてこの祈りということ。そしてここにもありますけれども「幸せのカタチは決してひとつではない」というふうにあるんですが、私たちが生まれてきた意味、これから生きていく意味みたいなものもすごく感じとれるような映画だと思いますので、是非皆さんに観ていただきたいです。5月30日からは青森県だけですけれども、全国に公開されたときには、本当に全国の人たちみんなに観てほしいです。八戸で広まって、そして全国でたくさんの方に観ていただきたいというふうに広まってくれればいいなと思いますので、公開されましたら是非皆さん八戸フォーラムへ足を運んでいただきたいと思います。この場をお借りしてPRさせていただきました。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>教育委員会にも関係がありますし、これからの新たな取組が提案されましたので、皆さんでできることをしていきたいと思っています。</p> <p>では、これをもちまして、平成27年2月の教育委員会定例会を終了いたします。ご苦労様でございました。</p>

	<p>(午後 2 時 31 分終了)</p>
--	------------------------